

平成30年度 佐伯市学力定着状況調査結果概況

2019. 2. 14
佐伯市教育委員会 学校教育課

佐伯市学力定着状況調査

＜目的＞

- ①児童生徒の学力や学習・生活状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題の検証・改善を図る。
- ②学校における児童生徒への教育指導の充実、学習状況の改善等に役立てる。
- ③教育に関する継続的な検証サイクルを確立する。

平成30年12月18日(火)実施

小学校4年生⋯⋯国語・算数・理科
中学校1年生⋯⋯国語・数学・理科・英語

・全教科、「基礎」と「活用」を問う問題に分けられている。

「基礎」⋯⋯身につけておかなければならぬ知識・技能など。
「活用」⋯⋯知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力など。

平成30年度佐伯市学力定着状況調査結果 (12月18日(火)実施)

小学校4年 概況(全国平均を50とした時の偏差値)

国 語		算 数		理 科	
基礎	活用	基礎	活用	基礎	活用
49.5	48.8	49.5	50.9	48.3	49.6
(+0.3)	(-0.4)	(-1.1)	(-1.8)	(-0.5)	(+0.7)



は全国平均以上。 ()は、昨年度比。

算数の活用のみ、全国平均に達している。
国語の基礎と理科の活用が昨年度より伸びている。

平成30年度佐伯市学力定着状況調査結果 (12月18日(火)実施)

中学校1年 概況(全国平均を50とした時の偏差値)

国 語		数 学		理 科		英 語	
基礎	活用	基礎	活用	基礎	活用	基礎	活用
51.6	49.7	51.5	51.6	52.4	50.9	50.9	50.8
(+0.8)	(±0)	(-0.1)	(+0.7)	(+2.2)	(+0.1)	(+2.0)	(+2.8)

■は全国平均以上。 ()は、昨年度比。

国語の活用以外は、全国平均に達している。
昨年度よりほとんどの項目で平均が上がっている。

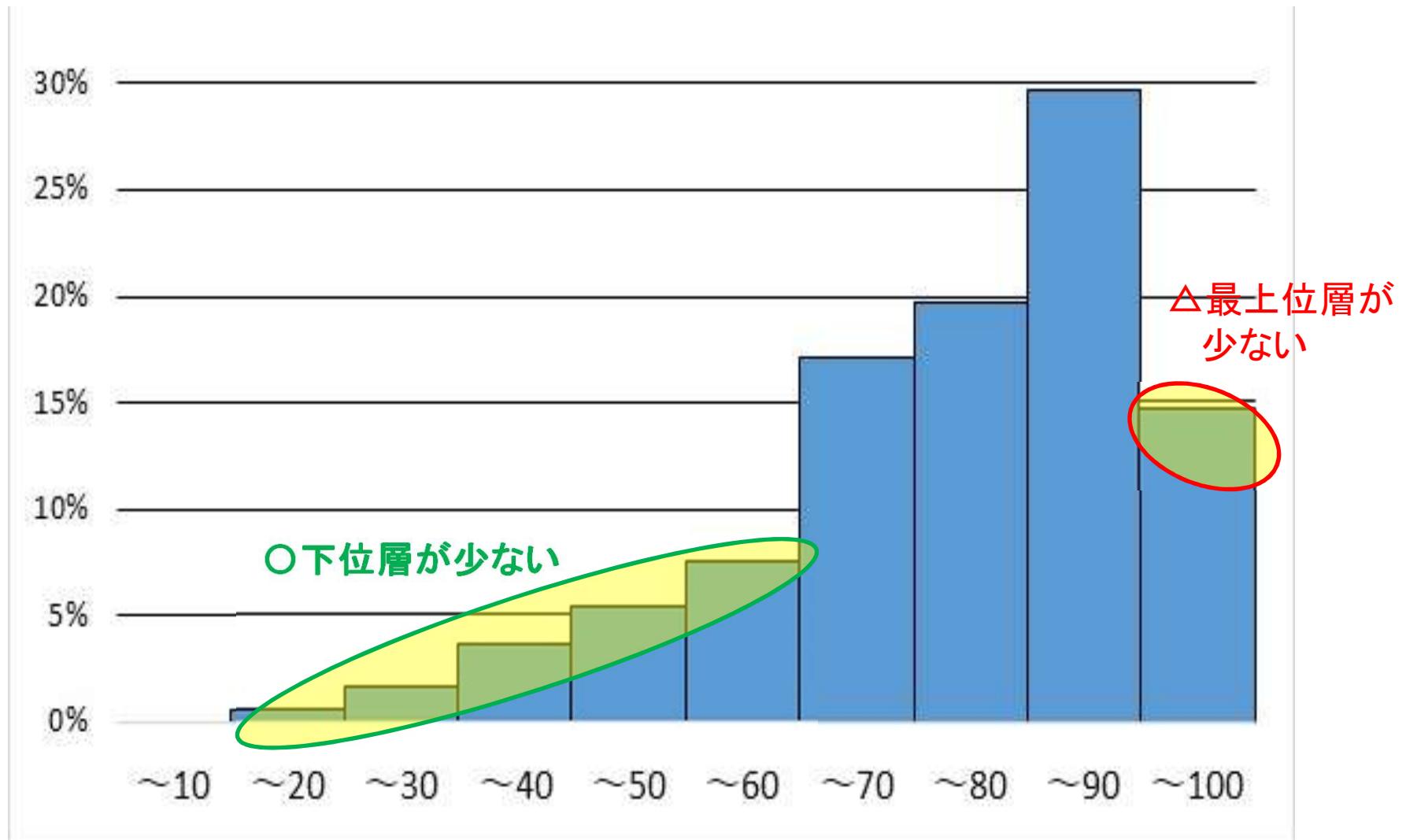
平成30年度佐伯市学力定着状況調査 (小学校4年国語・全国平均との平均正答率比較)

分類	区分	平均正答率		全国平均との差
		佐伯市	全国	
基礎・活用	教科全体	73.6	74.8	▲ 1.3
	基礎	76.2	77.1	▲ 0.9
	活用	61.5	64.3	▲ 2.8
領域	話すこと・聞くこと	79.2	82.8	▲ 3.5
	書くこと	56.5	54.1	2.5
	読むこと	73.4	76.7	▲ 3.3
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	80.8	82.2	▲ 1.3
観点	国語への関心・意欲・態度	64.0	64.6	▲ 0.6
	話す・聞く能力	79.2	82.8	▲ 3.5
	書く能力	57.4	55.2	2.2
	読む能力	68.0	71.4	▲ 3.4
	言語についての知識・理解・技能	80.2	81.1	▲ 0.9

※ は全国平均以上。

「書くこと」「書く能力」以外は、全国平均に達していない。
3月までに4年生の内容の補充学習を丁寧に行う必要がある。

平成30年度佐伯市学力定着状況調査 (小学校4年国語・正答数度数分布グラフ)



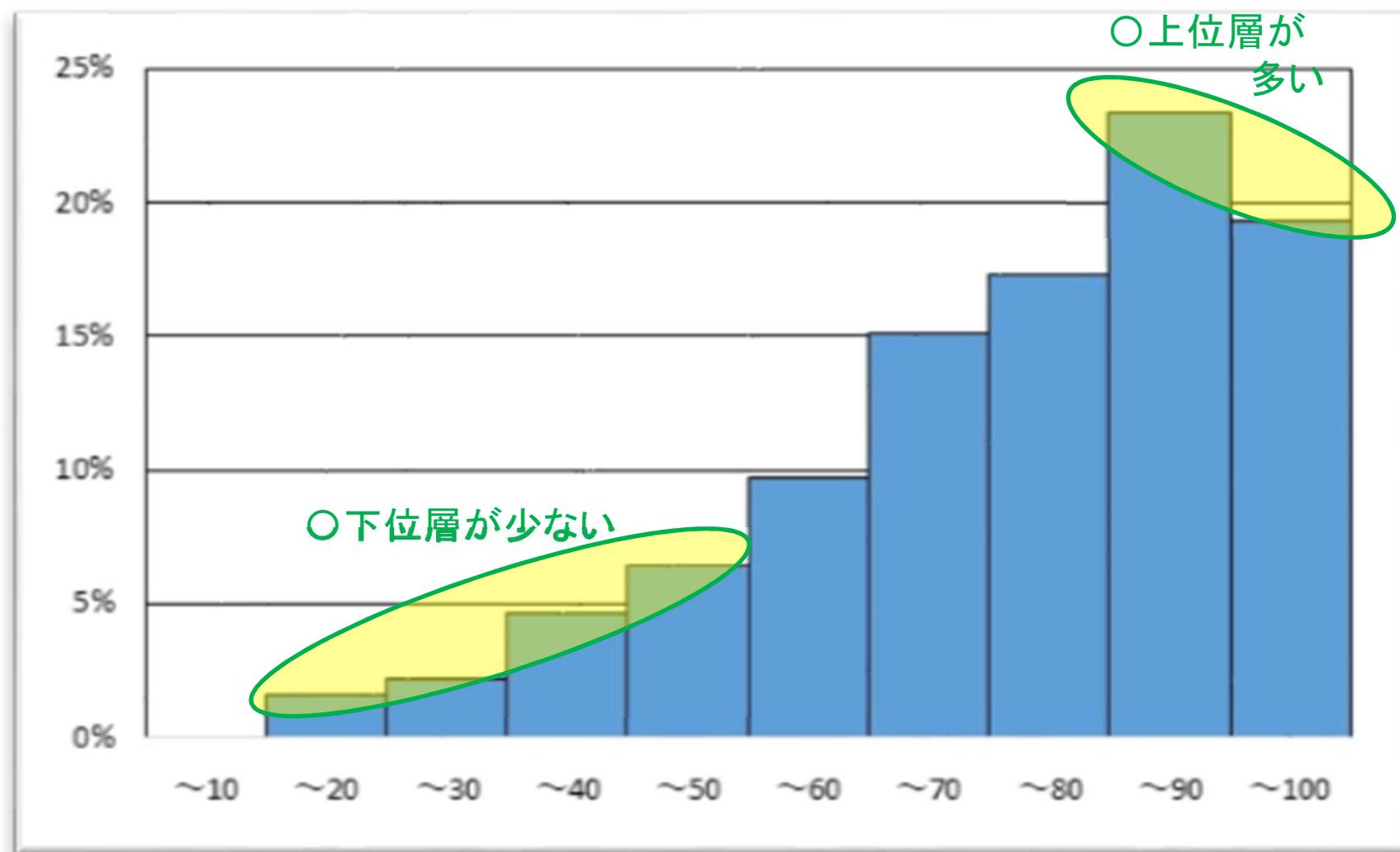
平成30年度佐伯市学力定着状況調査 (小学校4年算数・全国平均との平均正答率比較)

分類	区分	平均正答率		全国平均との差
		佐伯市	全国	
基礎・活用	教科全体	71.8	72.0	▲ 0.2
	基礎	75.1	76.1	▲ 1.1
	活用	62.0	59.7	2.3
領域	数と計算	74.8	74.1	0.7
	量と測定	76.5	79.6	▲ 3.1
	図形	62.8	60.3	2.4
	数量関係	67.2	68.7	▲ 1.5
観点	算数への関心・意欲・態度	64.7	65.1	▲ 0.4
	数学的な考え方	67.9	66.1	1.7
	数量や図形についての技能	72.9	73.5	▲ 0.6
	数量や図形についての知識・理解	71.5	71.9	▲ 0.4

※ は全国平均以上。

教科全体としては全国平均に迫っているが、「基礎」に課題。
「量と測定」「数量関係」の内容の補充学習を行う必要がある。

平成30年度佐伯市学力定着状況調査 (小学校4年算数・正答数度数分布グラフ)



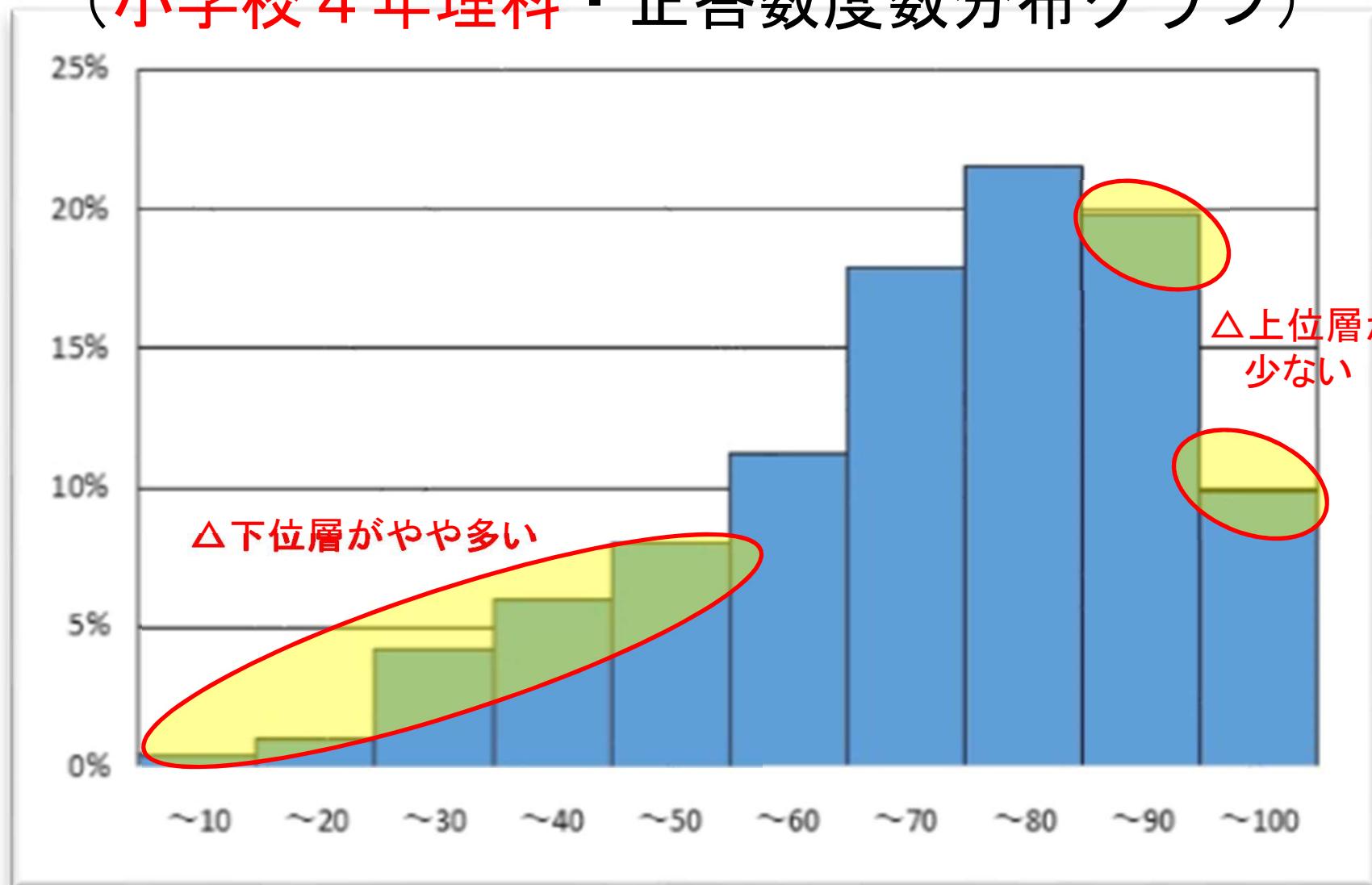
平成30年度佐伯市学力定着状況調査 (小学校4年理科・全国平均との平均正答率比較)

分類	区分	平均正答率		全国平均との差
		佐伯市	全国	
基礎・活用	教科全体	66.1	68.8	▲ 2.7
	基礎	69.7	73.0	▲ 3.2
	活用	54.1	55.2	▲ 1.1
領域	物質・エネルギー	64.9	69.4	▲ 4.5
	生命・地球	66.6	68.6	▲ 2.0
観点	自然事象への関心・意欲・態度	48.2	44.5	3.7
	科学的な思考・表現	59.8	62.9	▲ 3.1
	観察・実験の技能	61.7	61.5	0.2
	自然事象についての知識・理解	70.1	73.3	▲ 3.2

※ は全国平均以上。

全国平均に達している観点もあるが、全体的に課題が多い。
3月までに4年生の内容の補充学習を丁寧に行う必要がある。

平成30年度佐伯市学力定着状況調査 (小学校4年理科・正答数度数分布グラフ)



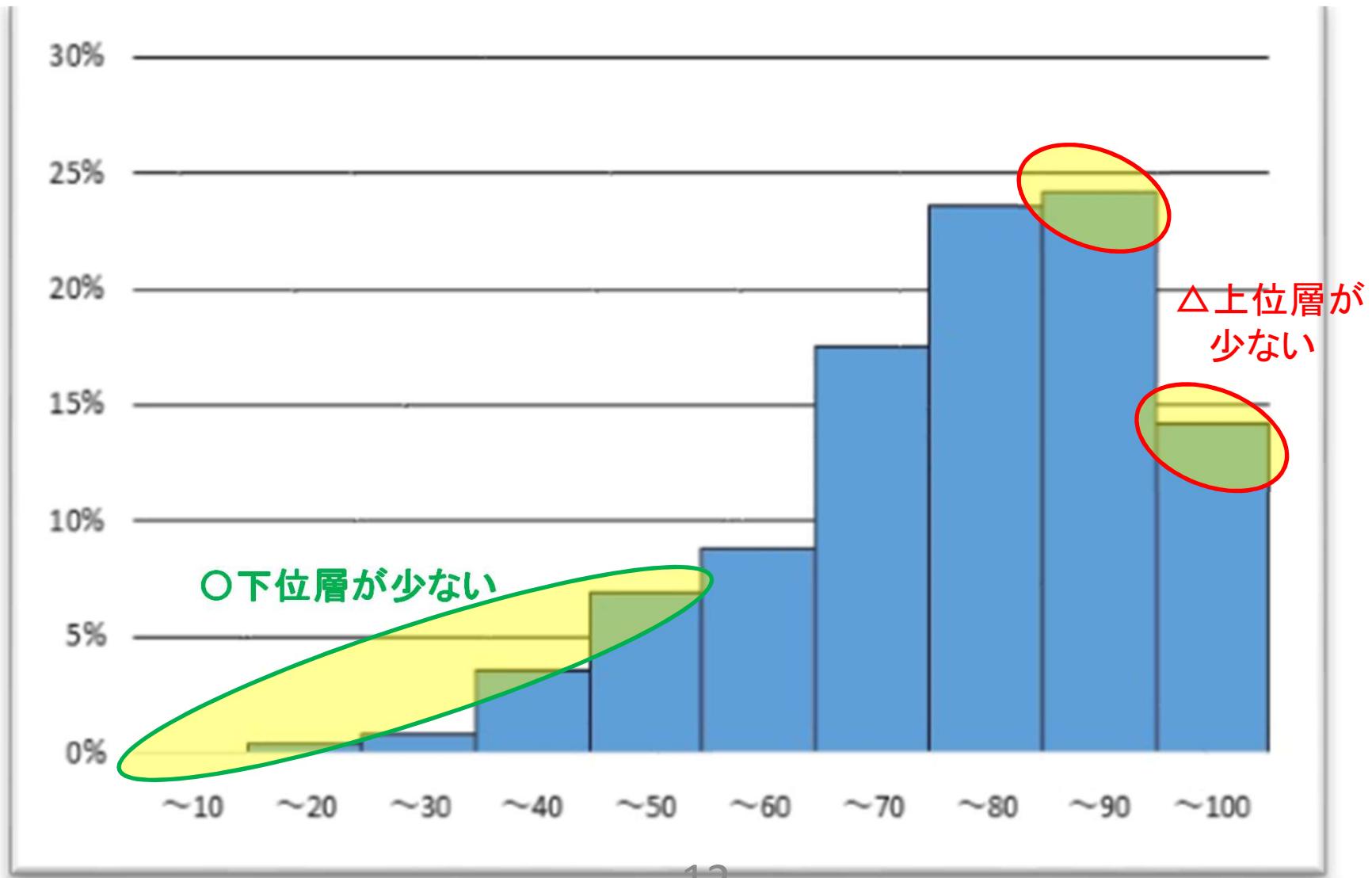
平成30年度佐伯市学力定着状況調査 (中学校1年国語・全国平均との平均正答率比較)

分類	区分	平均正答率		全国平均との差
		佐伯市	全国	
基礎・活用	教科全体	72.5	70.2	2.3
	基礎	74.7	71.5	3.2
	活用	64.7	65.4	▲ 0.7
領域	話すこと・聞くこと	65.6	70.0	▲ 4.5
	書くこと	74.8	67.4	7.4
	読むこと	67.0	65.3	1.8
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	77.0	75.4	1.6
観点	国語への関心・意欲・態度	72.1	69.0	3.1
	話す・聞く能力	65.5	68.8	▲ 3.3
	書く能力	71.8	65.2	6.6
	読む能力	66.8	65.3	1.5
	言語についての知識・理解・技能	77.0	75.0	2.0

※ は全国平均以上。

全国平均を上回っているが、「活用」に課題がある。
「話すこと・聞くこと」については、3月までに補充学習が必要。

平成30年度佐伯市学力定着状況調査 (中学校1年国語・正答数度数分布グラフ)



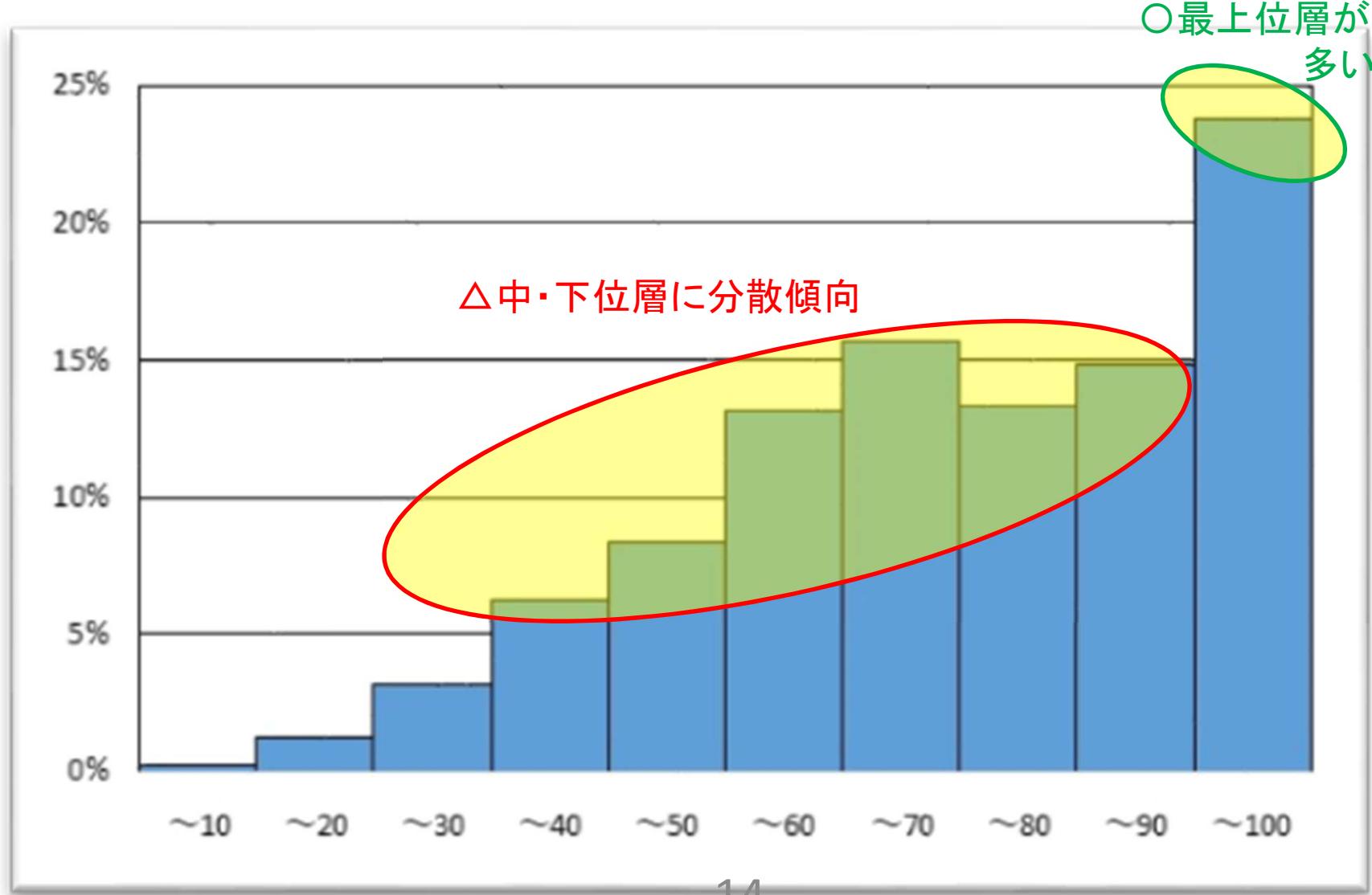
平成30年度佐伯市学力定着状況調査 (中学校1年数学・全国平均との平均正答率比較)

分類	区分	平均正答率		全国平均 との差
		佐伯市	全国	
基礎・ 活用	教科全体	68.9	65.2	3.7
	基礎	71.3	67.9	3.4
	活用	61.0	56.0	4.9
領域	数と式	68.7	65.6	3.2
	関数	69.2	64.3	4.9
観点	数学への関心・意欲・態度	65.5	61.7	3.8
	数学的な見方や考え方	61.7	56.6	5.1
	数学的な技能	67.7	64.2	3.4
	数量や図形などについての知識・理解	70.4	66.2	3.8

※ は全国平均以上。

全ての分類項目で全国平均を上回った。
昨年度に比べ、「活用」が大きく伸びている。

平成30年度佐伯市学力定着状況調査 (中学校1年数学・正答数度数分布グラフ)



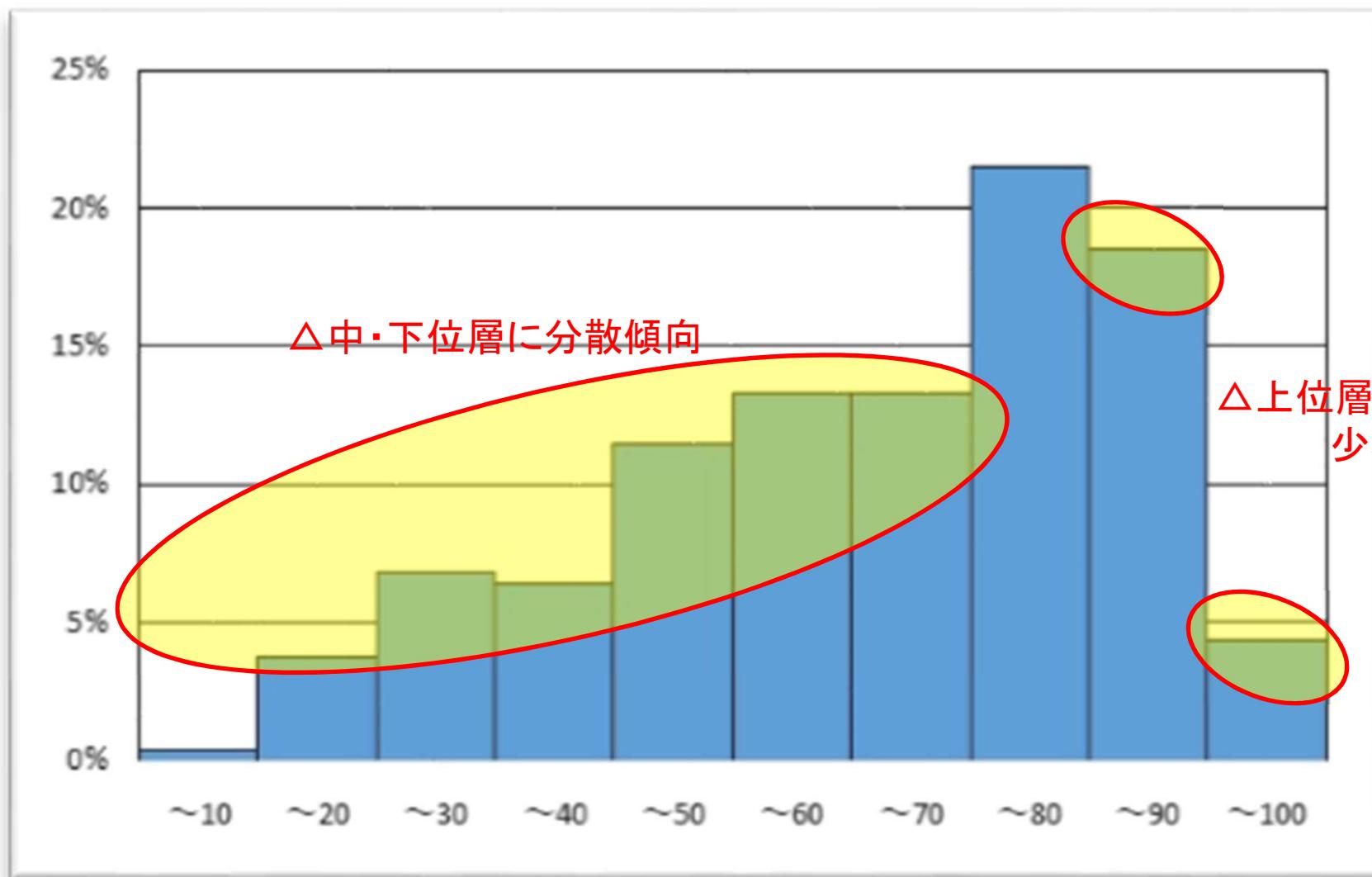
平成30年度佐伯市学力定着状況調査 (中学校1年理科・全国平均との平均正答率比較)

分類	区分	平均正答率		全国平均との差
		佐伯市	全国	
基礎・活用	教科全体	61.6	57.1	4.6
	基礎	65.8	60.1	5.7
	活用	51.6	49.7	1.9
領域	エネルギー	51.8	48.6	3.2
	粒子	63.1	60.8	2.3
	生命	62.6	55.4	7.2
観点	自然事象についての知識・理解	55.2	53.6	1.7
	科学的な思考・表現	57.1	54.5	2.6
	観察・実験の技能	70.1	64.4	5.6
	自然事象についての知識・理解	67.1	59.8	7.3

※ は全国平均以上。

全ての分類項目で全国平均を上回った。
昨年度に比べ「活用」が伸びているが、記述問題に課題がある。

平成30年度佐伯市学力定着状況調査 (中学校1年理科・正答数度数分布グラフ)



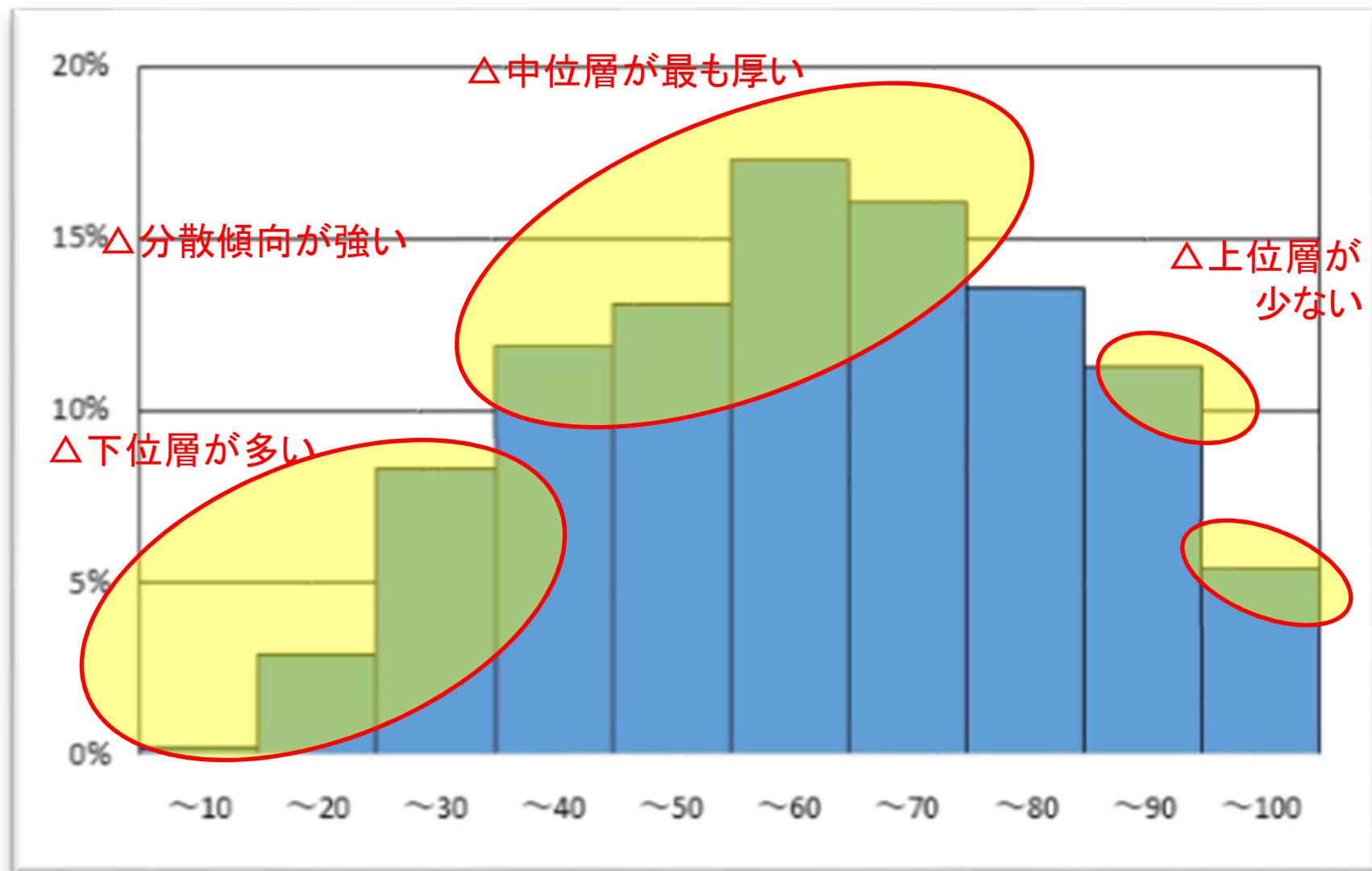
平成30年度佐伯市学力定着状況調査 (中学校1年英語・全国平均との平均正答率比較)

分類	区分	平均正答率		全国平均との差
		佐伯市	全国	
基礎・活用	教科全体	56.8	54.6	2.1
	基礎	63.1	61.0	2.1
	活用	40.8	38.7	2.2
領域	聞くこと	70.4	67.1	3.3
	読むこと	51.5	49.5	2.0
	書くこと	51.1	49.8	1.3
観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	62.0	58.9	3.1
	外国語表現の能力	43.9	41.8	2.1
	外国語理解の能力	59.0	56.8	2.2
	言語や文化についての知識・理解	58.2	56.5	1.7

※ は全国平均以上。

全ての分類項目で全国平均を上回った。
昨年度に比べ平均点は伸びているが、分布は分散傾向が強い。

平成30年度佐伯市学力定着状況調査 (中学校1年英語・正答数度数分布グラフ)



平成30年度佐伯市学力定着状況調査 (回答形式別・全国平均との平均正答率比較)

小学校

	国語		算数		理科		合計	
	佐伯市	全国	佐伯市	全国	佐伯市	全国	佐伯市	全国
選択	72.7	75.8	71.2	71.9	67.1	71.1	211.0	218.8
短答	82.4	84.2	76.6	77.1	70.1	72.4	229.1	233.6
記述	64.0	60.1	43.9	38.2	48.2	44.5	156.1	142.8

中学校

※ は全国平均以上。

	国語		数学		理科		英語		合計	
	佐伯市	全国	佐伯市	全国	佐伯市	全国	佐伯市	全国	佐伯市	全国
選択	71.8	71.6	71.8	68.5	65.8	61.5	62.9	60.0	272.3	261.6
短答	75.2	73.6	67.6	63.8	61.6	53.7	50.9	50.0	255.3	241.1
記述	69.8	62.2	61.3	55.9	39.4	42.1	45.2	43.8	215.8	204.0

- ・小学校は選択式・短答式に課題があると言える。
- ・中学校は回答形式による課題はほとんどないと思われるが、理科の理由や特徴を記述する問題に課題が見られた。

平成30年度 佐伯管内小・中学校における 今後の学力の向上に向けた取組

平成30年9月20日
大分県教育庁佐伯教育事務所
佐伯市教育委員会

平成30年度の全国学力学習状況調査（中3・小6）・大分県学力定着状況調査（中2・小5）の結果を受け、佐伯教育事務所・佐伯市教育委員会は共同して、下記により管内各小・中学校の学力向上の取組を支援する。

【目標（教育委員会）】県調査において、5年以内に県内順位5番以内にする。

【キーワード】基礎基本の定着・習熟に応じた指導（個に応じた指導）・取組の徹底

- 1 重点対策校（小・中各4校）を指定し、指導主事（市教委・教育事務所）が共同して訪問指導。**
- 2 習熟の程度に応じた指導による授業の充実、中位層、下位層への指導の徹底。**
- 3 学力向上支援教員、習熟度別指導推進教員を活用した指導強化**
- 4 「学校評価4点セット検証・改善プロセスシート」の各学校での作成・活用**

年度末までに各学校が取り組むこと

- ①その学年の内容の補充学習。
- ②習熟の度合にあつた指導の充実。
- ③中学校英語「話すこと」調査への対応。

